

南相馬

ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 1

平成18年4月1日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口194

TEL 0244-23-6421

URL <http://www.city.minamisoma.lg.jp>

南相馬市博物館 企画展

野馬追たんけん隊

平成18年7月1日(土)~8月27日(日)

みんなは野馬追を見たことあるよね？野馬追のことよく知ってるよね？

でも、毎年野馬追を見ている、意外と知らないことってあるかもしれないよ、たとえば…「むかしの野馬追って今と同じ行事なの？」「旗ってどれくらいあるの？」「よろいってどれくらい重いの？」…とか、考えれば考えるほどナゾはいっぱい。そんなモヤッとした疑問は博物館でスッキリ解決！君もたんけん隊になって、野馬追のナゾを探ってみようよ！

むかしの野馬追ってどんなことしてたの？

旗ってどれくらいあるの？

よろいってどれくらい重いの？

むかしの野馬追のとまどんなものが売っていたの？

ボクたちといっしょに、野馬追をたんけんしてみよう！



江戸時代の行列と原ノ町のようす

「相馬之馬追祭図」坂東市所蔵

今からだいたい200~300年くらい前の、原町区本町あたりを描いています。

町にはどんな職業の人たちがいるかな…？博物館でたしかめよう！

観覧料	一般	300円	(250円)
	高校生	200円	(150円)
	小中学生	100円	(80円)

※ () 内は団体料金

市内に居住・通学する小中高生は無料です。

きみも「さむらい」になれる！

展示室に、よろいかぶとのレプリカをおきます。実際に身につけて、さむらい気分を味わってみよう！ほかにもいろんな体験コーナーがあるよ！

「博物館だより」が生まれ変わりました

昨年度まで、南相馬市博物館（旧野馬追の里原町市立博物館）が発行していた「博物館だより」は、今号より、埴谷島尾記念文学資料館、鹿島歴史民俗資料館、南相馬市博物館、3館の広報紙、「南相馬ミュージアム通信」へと生まれ変わりました。

年3回、各館の展示会や体験学習・講座などの情報をお伝えします。今後ともよろしくお願ひいたします。



南相馬市博物館



鹿島歴史民俗資料館



埴谷島尾記念文学資料館

鹿島歴史民俗資料館より



江戸時代末期の測量具

縄文土器（宮後遺跡）

鹿島区にある鹿島歴史民俗資料館は、昭和56年11月に開館しました。

敷地面積1,133㎡、建物面積357.38㎡で、第1展示室、第2展示室、収蔵庫、学習室、^{くんじょう}燻蒸室、研究室兼管理室、機械室などの設備があります。

常設展としては、明治・大正期の農家を移設し、併せて民俗資料や民具資料を展示しております。代表的なものとしては、江戸末期の測量具や考古資料として宮後遺跡出土の縄文土器などを展示しております。

企画展については毎年2回開催をしております。

また、「文化財愛好会」や「古文書研究会」、さらには資料館主催事業「歴史講座」などの研修の場としての活用もされております。

埴谷島尾記念文学資料館より



小高区にある^{はにやしまお}埴谷島尾記念文学資料館は、平成12年5月20日^{うきふね}浮舟文化会館内に開館しました。

^{はにやゆたか}埴谷雄高は祖父の代から小高に移り住むようになったことから、^{しまおとしお}島尾敏雄は両親が小高出身だったことからゆかりの人物となっています。埴谷は台湾生まれで、小高に住み続けたことはないのですが、本籍地を小高から移すことはありませんでした。島尾は横浜生まれですが、幼少期にはよく小高を訪れ「いなか」と呼んで親しんでいました。関東大震災のおり、偶然にも小高に来ていて災難から逃れられたのは幸運といえましょう。

資料館では、著書をはじめ、^{じきひつ}直筆の書や色紙、原稿などの資料ほか埴谷雄高が所有していた蔵書や親しかった人たちとの書簡や写真、島尾敏雄が実際に着用していた背広、^{かわくつ}革靴、^{つむぎ}大島紬などの資料を所蔵しています。

また、そのほか小高出身あるいはゆかりのある文化人の資料収集、企画展なども開催しています。

南相馬市となって鹿島区と一緒にしたことにより、^{あら}荒正人も南相馬ゆかりの人物となりました。彼は、埴谷や島尾が参加していた『近代文学』同人の仲間のひとりであり、近代文学同人が3人も輩出している地域は全国を見てもそうあることはありません。荒正人の資料収集にも努め、さらなる充実を図りたいと思います。



特別展

南相馬市の生き物

—ふるさとの植物と動物—

平成18年 4月23日(日)~6月4日(日)

福島県北東部に位置する南相馬市は、阿武隈の山々の緑と太平洋の大海原の青さに囲まれた自然豊かなところです。

植物の種類も多く、山間部にはブナやミズナラなど阿武隈高地では少なくなった樹木が点在し、分布北限となるアカヤシオやマメツタランなどもみられます。また、海岸線にはハマナスやセンダイハギなどの貴重種も残っています。動物では、ニホンザルの群れやクロサンショウウオ、ヒヌマイトトンボやカワシンジュガイなどの希少種の生息が確認されました。

しかし、近年では開発や外来種などの諸問題によって、南相馬市の自然環境や生物は大きく姿を変えつつあります。

今回の企画展では、市内で確認されている主な植物と動物についてご紹介いたします。ふるさと南相馬市には、どんな生き物がいるのでしょうか。そしてそれを守るために、私たちはどうしたらいいのでしょうか。展示をみながら、みんなで考えてみませんか。



アカヤシオ 撮影：伊賀和子氏



ニホンザル (上)

撮影：大槻晃太氏



ヒヌマイトトンボ (下)

撮影：三田村敏正氏

観覧料	一般	300円	(250円)
	高校生	200円	(150円)
	小中学生	100円	(80円)

※()内は団体料金 市内に居住・通学する小中高生は無料です。

常設展示室 ミニテーマコーナー

端午の節句に陣羽織

期間 平成18年3月28日(火)~7月2日(日)

5月5日の端午の節句といえば、男子の成長を祝う行事です。武家文化を引継ぐこ相馬地方では、鯉のぼりや絵のぼりとともに、野馬追の指旗を立てる家もありました。今回、童陣羽織など陣羽織を中心に展示し、その造形美とともに当地方での子どもたちの成長の祝いについて紹介します。



南相馬市博物館の催し物

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
4月22日(土)	博物館講座 「南相馬の近代①」	13:30~15:30 定員 50名 講師 水久保克英主任学芸員 明治時代、近代化していく南相馬の鹿島・原町・小高の各宿場町の様子について紹介します。
4月29日(土)	自然観察会 「八木沢峠周辺の山で 春を探そう」	9:00~12:00 定員 20名 講師 伊賀和子氏(福島県植物研究会) 大亀清壽氏(鱒族協議会) 杉内慶夫氏(日本野鳥の会南相馬支部) 八木沢峠周辺の春の山で、草花や樹木、鳥、小動物を観察します。
5月14日(日)	民話の世界	10:30~12:00 語り部:菅野清二氏 渡部弘氏 荒一之氏 宮本晴一氏 尺八:増山真一氏 国指定重要文化財の旧武山家住宅の公開にあわせて、市内・県内に伝わる民話を聞きます。
5月20日(土)	博物館講座 「古代の郡家一浜通り」	13:30~15:30 定員 50名 講師 佐藤祐子学芸員 浜通りの古代の郡家(役所跡)と、海上交通について紹介します。
5月21日(日)	市内史跡めぐり	9:00~12:00 定員 26名 講師 当館学芸員 市内の史跡や、神社仏閣をめぐり、南相馬市の歴史について学びます。
5月28日(日)	体験学習 「化石採集」	13:30~15:00 定員 20名 講師 平宗雄氏(相馬中村層群研究会) 予定 南相馬市内に分布する地層から、化石を採集します。 【持ち物】軍手・新聞紙・ビニール袋 ※前日 16:00より事前説明会を予定。必ずお申し込みの上ご参加ください。
6月10日(土)	体験学習 「機織りとむしろ織り」	10:00~12:00 定員 20名 講師 境司氏・鈴木ミドリ氏・堀内キミ氏 織物の歴史と技術について学びます。
6月17日(土)	博物館講座 「海の文化財」	13:30~15:30 定員 50名 講師 二本松文雄主査 相双地方の海と川に関する文化財と祭りなどの習俗を紹介します。
7月8日(土)	体験学習 「甲冑の着装」	10:00~12:00 定員 20名 講師 二上裕嗣氏(社団法人 日本甲冑武具研究保存会評議員) 野馬追で使われる甲冑の着装の仕方を学びます。
7月15日(土)	博物館講座 「野馬追意外史②」	13:30~15:30 定員 50名 講師 二上文彦学芸員 知っているようで意外と知らない、野馬追の歴史を紹介します。

「古文書解読講座」【初心者向け】

4月2日・5月7日・6月4日・7月2日

南相馬市にかかわる江戸時代の古文書を実際に解読し、当時の様子を学びます。

今回のテキストは、幕末の「異国船渡来」に関するものです。

13:30~15:30 定員 20名

【持ち物】 原稿用紙・筆記用具



八木沢峠でどんな春が見つかるかな？
「自然観察会」



甲冑の正しい着装を学びましょう
「甲冑の着装」

各館のご利用案内

埴谷島尾記念文学資料館(浮舟文化会館内)

問合せ 〒979-2124 小高区本町二丁目 89-1 TEL: 0244-44-3049 FAX: 0244-44-1266

E-mail: o-chiikikyoiku@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~17:00 休館日 年末年始(12月29日~1月3日) 観覧料 無料

鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2442 鹿島区西町三丁目 1 TEL: 0244-46-4281 FAX: TELと同じ

E-mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~16:30 休館日 第3日曜とその前日。祝・休日。年末年始(12月29日~1月3日)

観覧料 大人 110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料

南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口 194 TEL: 0244-23-6421 FAX: 0244-24-6933

E-mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00~16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般 300円(250円) 高校生 200円(150円) 小中学生 100円(80円) ()は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中高生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)